

西サハラ全国キャラバン 2023 in 名古屋

# いつか自由で平和な祖国へ！

## サハラーウィ難民キャンプからの報告



難民キャンプに生まれ育った「サハラーウィ」(西サハラの人びとは自らをそう呼ぶ)として、西サハラの問題をどう学び、いかにして民族運動に参加するようになったのか。難民の若い世代はどんな未来を展望しているのか。難民キャンプはいかなる問題を抱えているのか。そして国際社会に何を望むのか——。この講演では、これらのことについて当事者から話を聞きます。

写真：ジャーナリスト 岩崎有一氏

# 11/6(月)

## 18:30~20:30

名古屋市  
東生涯学習センター  
視聴覚室

名古屋市東区葵一丁目3番21号

参加費：700円  
学生は無料



お話：ファトマ・ブラーヒームさん

アルジェリア・チンドウフのサハラーウィ難民キャンプに生まれ育つ。アルジェリア西部のオラン第一大学人文・イスラーム学部メディア・コミュニケーション学科卒業。同大学院視聴覚学専攻修士課程修了。難民キャンプでイタリアの開発NGOに勤めながら、西サハラ学生連合外交委員会アフリカ担当として活動している。モロッコが築いた分離壁に抗議するグループ「壁に向かって叫ぶ(Scream against the Wall)」のメンバー。

通訳：松野明久さん(西サハラ友の会)

西サハラとは

<アフリカ最後の植民地>西サハラは1975年、スペインからの独立過程でモロッコに侵略され、現在も領土の80%が占領下にあります。国連は1991年に独立を問う住民投票の実施を決めましたが、モロッコの妨害や大国の思惑によって実現していません。アルジェリアの難民キャンプに拠点をおくサハラーウィは「サハラ・アラブ民主共和国」の樹立を宣言し、モロッコ占領下のサハラーウィはそれと連携して非暴力による独立運動を続けています。難民キャンプには約17万人が暮らし、住民投票を経て、解放された祖国に帰れる日を待ち望んでいます。詳しい情報は西サハラ友の会のウェブサイトをご覧ください。 <https://fwsjp.org/>

参加申込  
問合せ

URLまたはQRコードからお申し込みください。  
[https://nangoc.org/2023/09/28/westernsahara\\_20231106/](https://nangoc.org/2023/09/28/westernsahara_20231106/)  
(特活)名古屋NGOセンター  
名古屋市中区新栄新栄町2-3 YWCAビル7F  
TEL(052)228-8109



主催：アムネスティ日本(なごや栄グループ・わやグループ)  
日本平和学会 中部・北陸地区研究会  
(特活)名古屋NGOセンター

協力：西サハラ友の会